

# 江戸川区 中小企業の景況

令和3年10月～令和3年12月期

調査対象 製造業 161社 小売業 74社  
サービス業 59社 建設業 56社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株) サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和3年12月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和4年1～3月期)をまとめたものです。  
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

## ※ D. I (Diffusion Index) の略

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

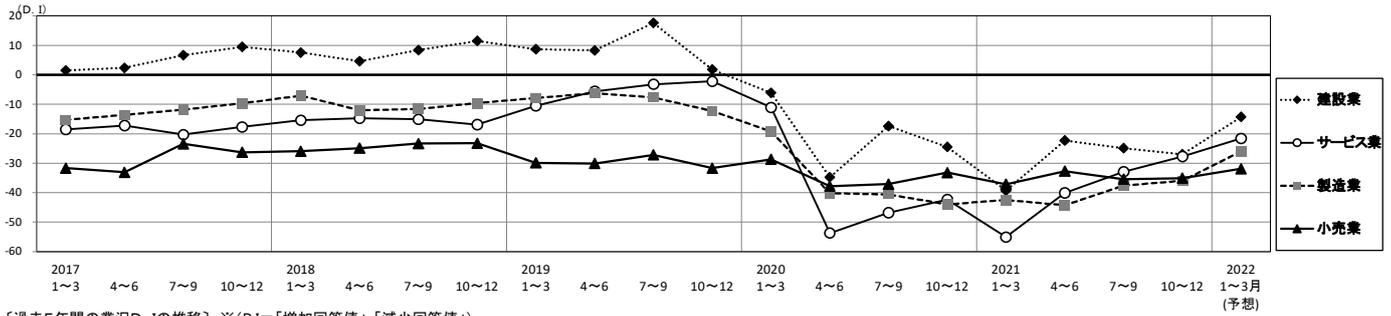
製造業	前期		-37.6	業況DI(Δ37.6→Δ36.0)は前期並の厳しさが続きました。売上額(Δ30.7→Δ31.8)は前期同様の減少幅で推移しましたが、収益(Δ27.7→Δ32.4)は減益傾向がやや強まりました。 来期の業況(Δ26.0)は悪化傾向が大幅に弱まると見えています。売上額(Δ21.2)と収益(Δ21.1)も減少・減益傾向が大きく改善すると予想しています。
	今期		-36.0	
	来期		-26.0	

小売業	前期		-35.4	業況DI(Δ35.4→Δ35.1)は前期並の厳しさが続きました。売上額(Δ32.4→Δ28.0)と収益(Δ33.2→Δ27.4)は減少・減益傾向がやや改善しました。 来期の業況(Δ31.9)は悪化傾向が幾分弱まりますが、売上額(Δ26.5)と収益(Δ29.9)は今期並の減少・減益傾向が続くと予想しています。
	今期		-35.1	
	来期		-31.9	

サービス業	前期		-32.9	業況DI(Δ32.9→Δ27.7)は厳しい状況ながら3期連続で改善傾向が続きました。売上額(Δ28.7→Δ19.5)と収益(Δ31.5→Δ25.3)も減少・減益傾向が大きく改善されました。 来期の業況(Δ21.6)はかなり持ち直すと予想しています。売上額(Δ15.8)と収益(Δ19.8)も減少・減益傾向がやや改善すると予想しています。
	今期		-27.7	
	来期		-21.6	

建設業	前期		-24.9	業況DI(Δ24.9→Δ27.0)は悪化傾向がやや強まりました。売上額(Δ30.4→Δ16.6)は減少傾向が大幅に弱まりましたが、収益(Δ31.7→Δ38.8)は減益傾向が大きく強まりました。 来期の業況(Δ14.3)は大きく持ち直し、売上額(Δ6.8)と収益(Δ20.9)も減少・減益傾向が大幅に改善すると予想しています。
	今期		-27.0	
	来期		-14.3	

## 江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



〔過去5年間の業況D.I.の推移〕※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2017				2018				2019				2020				2021				2022
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3月(予想)
製造業	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-36.0	-26.0
小売業	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-35.4	-35.1	-31.9
サービス業	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-27.7	-21.6
建設業	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-27.0	-14.3

## 経営者から寄せられた声 (2021年10~12月)

### 〔景況全般について〕

- 仕事は上向きになってきたが、資金繰りに苦勞している。(製造業)
- 材料や燃料の高騰・変動により見積りが難しい。(製造業)
- コロナ禍で集客が難しく、オンラインに対応するにも人材、設備面で難しく業態自体が存続の危機。(サービス業)

### 〔受注・売上・単価・仕事量について〕

- 10月~11月は様子見という感じで客足の回復はなかったが、12月に入ってから売上は回復した。ただし、仕入れについては半導体不足の影響が根深い。(小売業)
- 昨年に比べ2~3割ほど戻ってきているように感じる。あまり人と接することに対しては以前ほど敏感にはなっていないような気がする。(サービス業)
- 仕事は増加したが、協力会社(下請業者)も増え、支払単価が上昇している。仕事をこなせることはありがたいが、利益は出ていない。(建築業)

### 〔経営上の課題について〕

- 弊社の主力業務のイベント関連は、11月末から回復傾向にあったが、オミクロン株拡大傾向からか、12月末から再度の大型イベントの見直しが始まり、1月中の案件の失注が起きており、状況悪化の可能性がある。(サービス業)
- 半導体不足の影響があり、商品不足で延期になる物件がでている。(建築業)
- 令和4年1月の工事受注は順調で、2月以降の引き合いも好調。弊社の問題点は、昨年社員の退職が続き、継続的に募集を行っているが、応募は皆無であること。慢性的な社員不足が続いている。コロナ禍で緊急融資を受けた借入金の返済が始まるため、2022年は緊張感をもった一年となりそうだ。(建築業)

### 〔経営改善等に向けての取組み〕

- 業界動向として情報セキュリティに取り組んでいる。(製造業)
- コロナにより飲食店の新規出店が減少している。弊社では自社の強みを再検討し、強みを生かした広告に力を入れている。(建築業)

## 江戸川区の企業倒産動向 (2021年10~12月)

### 江戸川区の企業倒産動向

2021年10~12月期の江戸川区の倒産件数は、前期比12.5%減の7件(前期8件)、負債総額は前期比54.7%減の6億27百万円(前期13億84百万円)でした。

業種別にみると、件数では“製造業”“卸売業”“小売業”“サービス業”“建設業”“不動産業”“宿泊業、飲食サービス業”が各1件であった。負債総額は“不動産業”が4億90百万円で、“建設業”が76百万円でした。

	(単位: 件・百万円)							
	前年同期 2020年10~12月		前期 2021年7~9月		今期 2021年10~12月			
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	2	124	1	10		
卸売業	1	10	0	0	1	10		
小売業	4	818	0	0	1	21		
サービス業	1	30	1	10	1	10		
建設業	2	142	3	1,230	1	76		
不動産業	0	0	0	0	1	490		
情報通信業・運輸業	0	0	2	20	0	0		
宿泊業、飲食サービス業	2	31	0	0	1	10		
その他	0	0	0	0	0	0		
合計	10	1,031	8	1,384	7	627		

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL: 03-5662-9014(直通)